

歩数計 & 温湿度計

3Dセンサー搭載

UVゲージ付き

商品取扱説明書

Ynac Co.,Ltd.

No. LH601

この度は弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

主な仕様

材質	本体ケース：ABS樹脂
外形寸法	88×44×13mm
本体質量	36g
使用電池	歩数計用 CR2032×1個 温湿度計用 CR2032×1個 (DC3Vコイン形リチウム電池)

歩数計

検出方式	3次元加速度センサー
表示内容	歩数：10～99,999歩 時計：12H (AM12:00～PM11:59) /24H (0:00～23:59) 切り替 距離：0.01～999.99km (歩幅設定30～180cm *1cm単位) 加減：0.1～9999.9kcal (体重設定20～160kg *1kg単位)
歩行精度	±5%以内 (振動試験機による) ※歩き方やその他の要因により異なる 場合があります。
時計精度	平均月差±30秒以内
電池寿命	約1年 (10,000歩/1日 使用時)

温湿度計

測定及び 動作範囲	温度：-9.9～50.0℃ 湿度：20～90%Rh ※ただし氷結や結露しないこと
表示分解能	温度：0.1℃ 湿度：1%Rh
温度計精度	温度：±0.5℃ (10～40℃の範囲内) ±1℃ (上記範囲外)
湿度計精度	湿度：±3% (20～30℃/40～70%の範囲内) ±5% (上記範囲外)
熱中症計	5段階表示 (ほぼ安全、注意、警戒、厳重警戒、危険)
測定間隔	自動測定は10分間に一回 ※計測ボタンを押すとその都度測定
電池寿命	約18ヶ月 (電池交換表示機能付き)

UVチェッカー

紫外線の有無・強さを色の変化で表示
※太陽光に約100時間照らすと色が変わりにくくなります。

警告

△電池を直接はんだ付け、分解、過熱、火に入れるなどしないでください。発熱、液漏れ、破裂などの原因になります。

△万一、電池溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し眼に入ったときは水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

△電池は飲み込むと窒息や中毒のおそれがあり大変危険です。幼児の手の届かない所に置いてください。

△電池を破棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。

△急な運動や無理な運動は危険です。けがや病気の方、日頃の運動になれていない方、減量や運動治療を目的とされる方は医師や専門家に相談してください。

ご使用上のご注意

△極端な低温・高温・湿気の多いところでの使用はさけてください。故障などの原因になります。

△製品を分解したり、曲げたりしないでください。また、落としたり、強いショックを与えないでください。火中に投げないでください。

△電池が消耗した時は必ず新しい電池と交換してください。消耗した電池を本体内部に放置しておきますと液漏れにより故障などの原因となります。

△お手入れの際は、乾いたやわらかい布をご使用ください。シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。

△製品をズボンのうしろポケットに入れしないでください。座ったときに破損したりけがをする原因になります。

△カラビナは登山などには使用できません。強く引っ張ったり曲げたりしないでください。破損の原因になります。

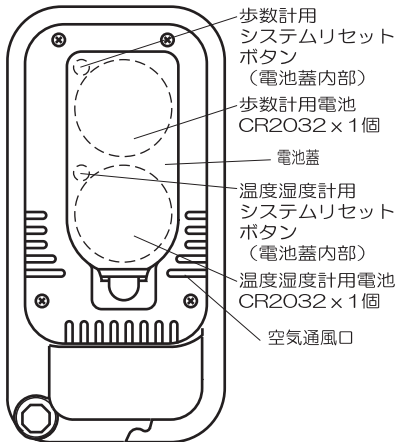
各部の名称

<正面図>



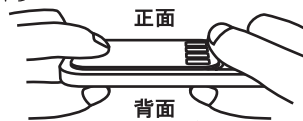
「LCD保護シール」をはがしてご使用ください。

<背面図>



カラビナから本体を取り外す

●取り外す



●取り付けるときは逆の手順ではめ込みます。

※取り付けにはカラビナと本体の凸凹みを合わせてください

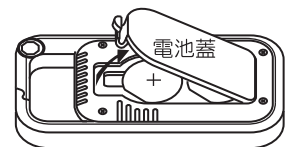
電池交換の方法

電池が消耗すると表示が薄くなるなど正確に動作しなくなります。(また、温度湿度計用はLCD表示に電池交換マークが点灯します。)

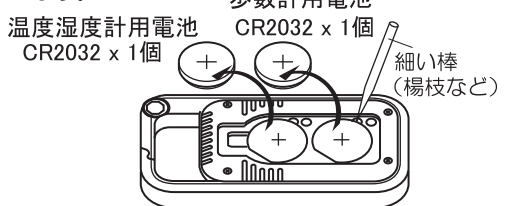
このときは、新しい電池と交換してください。

※付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合があります。

1.電池蓋を矢印の方向に開いてください。



2.古い電池を細い棒 (楊枝等) で取り出し、新しい電池を＋の電極を間違えないよう注意して入れます。



3.電池蓋を閉じてください。

使用電池：歩数計用CR2032 x 1個
温度湿度計用CR2032 x 1個
(3Vコイン形リチウム電池)

⚠ 電池を破棄する際は、お住まいの地域の使用済み電池の処分方法に従って捨てるか、お買い求めの販売店にご相談 (処分をご依頼) ください。

注) 歩数計用の電池交換をしたときは表示が初期設定状態になりますので、あらためて各データを設定してください。

歩数の測定上のご注意

断続的な動きや雑振動の誤測定を防止するために下記の設定にしています。

●10回の継続した動きを歩行と判断して10歩目から表示します。

【例】表示が100歩の状態で小休止し再度連続歩行を開始した場合、9歩目までは表示は100歩のままですが10歩目から110歩・111歩・112歩と表示していきます。

※9回以下の断続的な動きを繰り返しても歩数はカウントされません。

●腰やバッグにぶら下げたときや、不規則な動きをしているバッグの中などに入れているときなど、製品が不規則に動く場合は正確に測定されません。

●非常にゆっくり歩いたりジョギングなど、1分間に80～150歩以外のスピードで歩行した場合は正確に測定されません。

●すり足やサンダルなどの履物での歩行、混雑した街中を歩くときなどの歩行の乱れ、立ったり座ったりする動作、ジャンプなどの過激な動作、階段や急斜面の昇り降り、電車やバスなどの乗車中に生じる上下振動や横ぶれなどの雑振動では正しく測定されません。

※3DGセンサーにより、ポケットやカバンの中で使用したり傾けても計測できます。

操作方法と表示部の説明

歩数計の説明

- 最初に電池を入れてください。(電池の入れ方は「電池交換の方法」をご覧ください。)
- 電源が入り、歩数計LCD表示が初期設定の状態になり「12H」が点滅します。

※初期設定状態のとき、1分間何も操作しないとICがオフ状態になり未設定の状態では歩数計LCD表示が消えてしまいます。
このときは、歩数計用システムリセットボタンを押して初期設定状態にしてください。

●初期設定の方法

初期設定状態の「12H」が点滅しているとき、モードボタンからリセットボタンを押して12時間表示か24時間表示を選んでください。

※12時間表示の場合は
AM12:00～PM11:59

※24時間表示の場合は
00:00～23:59

時刻設定

歩幅設定

体重設定

歩数表示

●測定表示の切り替え方法



※測定表示のとき、セットボタンを3秒間押し続けると初期設定状態に戻ります。(30秒間なにも操作しないと、もとの測定表示に戻ります。)

●リセットの方法

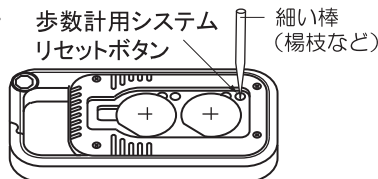
リセットボタンを5秒間押し続けると歩数・距離・カロリーが「0」にリセットされます。

●歩数計用システムリセットについて

ICがオフ状態のときや、メモリーや設定データをすべて消したい場合、または静電気などの影響で表示が乱れたり操作ができなくなったときは歩数計用システムリセットボタンを押してください。

注)システムリセットをしたときは、メモリー内容は消去され初期設定状態になりますのであらためて各データを設定してください。(1分間なにも操作しないとICがオフ状態になりLCD表示が消えます。もう一度、歩数用システムリセットボタンを押してください。)

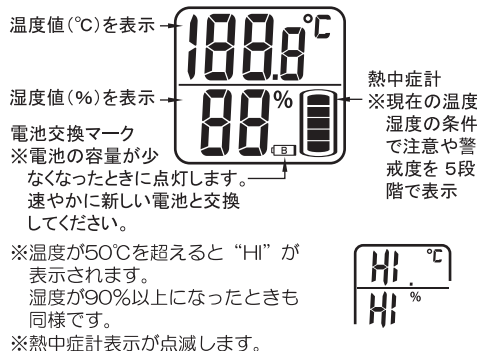
※システムリセットボタンを細い棒で押してください。



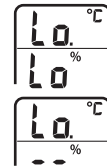
温度湿度計の説明

- 最初に電池を入れてください。(電池の入れ方は「電池交換の方法」をご覧ください。)

※センサーが本体内部にあるため、電池を入れた後または測定場所をかえるなど環境が変化した場合は、正確な表示になるまでに約30分間かかります。



※温度が-9.9°C以下になると「Lo」が表示されます。
湿度が20%以下になったときも同様ですが、さらにおよそ17%以下になると「—」表示になります。



- 計測ボタンを押すとその都度温度湿度を測定します。
※計測ボタンを押さなくても10分ごとに自動的に測定します。

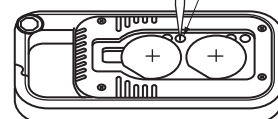
注)室内から室外に移動するなど環境の違う場所に移動した場合、センサーが環境になじんで正確な表示をするまでには時間がかかります。

●温度湿度計用システムリセットについて

実際の温度や湿度と液晶画面表示の温度や湿度が異なっていると思われるときにこのボタンを押すと正しい温度湿度に修正します。また、電池交換の時や静電気などの影響により、表示がおかしくなった場合やボタン操作ができなくなった場合に押します。

※システムリセットボタンを細い棒で押してください。

細い棒 (楊枝など) 温度湿度計用システムリセットボタン



●熱中症計

※現在の温度湿度の条件で注意や警戒度を5段階で表示



△熱中症計の表示はあくまで空調や体調管理の目安です。個人差、体調によって感じ方が大きく異なる場合があります。表示により発生の有無を断定するものではありません。公的機関から発表される「注意」「警戒」とは一致しない場合があります。

《日常生活における熱中症予防指針》

※日本生気象学会(2008年4月)より

WBGT値(°C)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
5 31°C以上	危険	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
4 28°C以上	嚴重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
3 25°C以上	警戒	運動や激しい作業をする際は定期的な十分に休息を取り入れる。
2 25°C未満 22°C以上	注意	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働には発生する危険性がある。
1 22°C未満	ほぼ安全	

UVチェッカーの説明

4個のボタンは紫外線に反応する樹脂で加工されています。紫外線が強いと色が見本色のように変化して濃くなります。

※紫外線の強さにも影響しますが、太陽光に約100時間照らすと樹脂の色が変わりにくくなります。



見本色(弱<—>強)

※紫外線の有無・およその強さを表すもので、量を計測するものではありません。赤外線予防の目安としてお使いください。